

北海道厚生局長 殿

北海道公立大学法人札幌医科大学  
理事長 島本和明

札幌医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

|        |     |
|--------|-----|
| 研修医の人数 | 52人 |
|--------|-----|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職 種   | 常 勤   | 非常勤   | 合 計    | 職 種     | 員 数  | 職 種         | 員 数  |
|-------|-------|-------|--------|---------|------|-------------|------|
| 医 師   | 233 人 | 299 人 | 481.6人 | 看護補助者   | 7 人  | 診療エックス線技師   | 一人   |
| 歯科医師  | 8 人   | 16 人  | 21.4人  | 理学療法士   | 22 人 | 臨床検査技師      | 55 人 |
| 薬剤師   | 33 人  | 2 人   | 35.0人  | 作業療法士   | 5 人  | 衛生検査技師      | 一人   |
| 保健師   | 一人    | 一人    | 人      | 視能訓練士   | 5 人  | その他         | 一人   |
| 助産師   | 28 人  | 2 人   | 29.5人  | 義肢装具士   | 一人   | あん摩マッサージ指圧師 | 一人   |
| 看護師   | 695 人 | 71 人  | 747.7人 | 臨床工学技士  | 14 人 | 医療社会事業従事者   | 一人   |
| 准看護師  | 3 人   | 4 人   | 5.5人   | 栄養士     | 一人   | その他の技術員     | 9 人  |
| 歯科衛生士 | 4 人   | 一人    | 4.0人   | 歯科技工士   | 3 人  | 事務職員        | 107人 |
| 管理栄養士 | 5 人   | 一人    | 5.0人   | 診療放射線技師 | 45 人 | その他の職員      | 43人  |

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

|              | 歯科等以外    | 歯科等      | 合 計     |
|--------------|----------|----------|---------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 710.9人   | 28.1人    | 738.9   |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,534.3人 | 88.7人    | 1623.0人 |
| 1日当たり平均調剤数   |          | 1315.1 剤 |         |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

|                           |           |       |    |
|---------------------------|-----------|-------|----|
| 医療技術名                     | 広汎子宮頸部摘出術 | 取扱患者数 | 6人 |
| 当該医療技術の概要<br>子宮頸癌の妊学性温存手術 |           |       |    |
| 医療技術名                     |           | 取扱患者数 | 人  |
| 当該医療技術の概要                 |           |       |    |
| 医療技術名                     |           | 取扱患者数 | 人  |
| 当該医療技術の概要                 |           |       |    |
| 医療技術名                     |           | 取扱患者数 | 人  |
| 当該医療技術の概要                 |           |       |    |
| 医療技術名                     |           | 取扱患者数 | 人  |
| 当該医療技術の概要                 |           |       |    |
| 医療技術名                     |           | 取扱患者数 | 人  |
| 当該医療技術の概要                 |           |       |    |
| 医療技術名                     |           | 取扱患者数 | 人  |
| 当該医療技術の概要                 |           |       |    |
| 医療技術名                     |           | 取扱患者数 | 人  |
| 当該医療技術の概要                 |           |       |    |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名  | 取扱患者数 | 疾患名   | 取扱患者数 |
|--|-------|---|-------|
| ・ベーチェット病                                       | 177人  | ・膿疱性乾癬  | 9人    |
| ・多発性硬化症  | 154人  | ・広範脊柱管狭窄症   | 1人    |
| ・重症筋無力症  | 282人  | ・原発性胆汁性肝硬変  | 134人  |
| ・全身性エリテマトーデス                                   | 689人  | ・重症急性膵炎   | 26人   |
| ・スモン   | 0人    | ・特発性大腿骨頭壊死症   | 4人    |
| ・再生不良性貧血                                       | 91人   | ・混合性結合組織病   | 252人  |
| ・サルコイドーシス                                      | 586人  | ・原発性免疫不全症候群   | 9人    |
| ・筋萎縮性側索硬化症                                     | 50人   | ・特発性間質性肺炎   | 117人  |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎                               | 156人  | ・網膜色素変性症  | 5人    |
| ・特発性血小板減少性紫斑病                                  | 239人  | ・プリオン病  | 0人    |
| ・結節性動脈周囲炎                                      | 28人   | ・肺動脈性肺高血圧症  | 41人   |
| ・潰瘍性大腸炎  | 208人  | ・神経線維腫症   | 39人   |
| ・大動脈炎症候群                                       | 35人   | ・亜急性硬化性全脳炎  | 2人    |
| ・ビュルガー病  | 6人    | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群  | 2人    |
| ・天疱瘡   | 91人   | ・慢性血栓塞栓性肺高血圧症   | 6人    |
| ・脊髄小脳変性症                                       | 65人   | ・ライソゾーム病  | 2人    |
| ・クローン病   | 91人   | ・副腎白質ジストロフィー  | 4人    |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎                                 | 70人   | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)   | 27人   |
| ・悪性関節リウマチ                                      | 25人   | ・脊髄性筋萎縮症  | 15人   |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、<br>大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 363人  | ・球脊髄性筋萎縮症   | 3人    |
| ・アミロイドーシス                                      | 80人   | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎  | 53人   |
| ・後縦靭帯骨化症                                       | 2人    | ・肥大型心筋症   | 181人  |
| ・ハンチントン病                                       | 1人    | ・拘束型心筋症   | 1人    |
| ・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)                             | 7人    | ・ミトコンドリア病   | 5人    |
| ・ウェゲナー肉芽腫症                                     | 133人  | ・リンパ脈管筋腫症(LAM)  | 0人    |
| ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症                               | 4人    | ・重症多形滲出性紅斑(急性期)   | 3人    |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋<br>小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)  | 8人    | ・黄色靭帯骨化症  | 36人   |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)                            | 3人    | ・間脳下垂体機能障害<br>(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD<br>H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症) | 113人  |

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類          | 施設基準等の種類 |
|-------------------|----------|
| ・胎児心エコー法          | ・        |
| ・HPV核酸同定検査        | ・        |
| ・腹腔鏡下肝切除術         | ・        |
| ・膀胱水圧拡張術          | ・        |
| ・強度変調放射線治療        | ・        |
| ・センチネルリンパ節生検(併用法) | ・        |
| ・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算 | ・        |
| ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術   | ・        |
| ・CT透視下気管支鏡検査加算    | ・        |
| ・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術    | ・        |
| ・創基悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術  | ・        |
| ・                 | ・        |
| ・                 | ・        |
| ・                 | ・        |
| ・                 | ・        |

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況                | ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。<br>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 47回   |
| 部 検 の 状 況                           | 剖検症例数 19例 / 剖検率 12.66%                                    |

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名  | 研究者氏名  | 所属部門    | 金額         | 補助元又は委託元   |
|--|--------|---------|------------|------------|
| オール北海道先進医学・医療拠点形成  | 島本 和明  |         | 29,430,000 | 補委 文部科学省   |
| 特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究                 | 島本 和明  |         | 1,150,000  | 補委 東京大学    |
| 消化管癌におけるマイクロRNAおよびエピゲノム異常の解析とその臨床応用                                | 篠村 恭久  | 内科学第一講座 | 6,300,000  | 補委 日本学術振興会 |
| 消化管癌の間質エピゲノムからアプローチする癌幹細胞ニッチの病態解明                                  | 篠村 恭久  | 内科学第一講座 | 1,500,000  | 補委 日本学術振興会 |
| ゲノム構造異常とエピゲノム異常の包括的解析に基づく新規骨髄腫治療法の開発                               | 石田 禎夫  | 内科学第一講座 | 1,400,000  | 補委 日本学術振興会 |
| 強皮症における病因解明と根治的治療法の開発  | 高橋 裕樹  | 内科学第一講座 | 300,000    | 補委 東京大学    |
| TNF受容体関連周期性症候群(TRAPS)の病態の解明と診断基準作成に関する研究                           | 高橋 裕樹  | 内科学第一講座 | 500,000    | 補委 九州大学    |
| 機能性RNA統合解析による日米欧の胃・大腸発癌の分子疫学的解明と臨床応用・癌予防                           | 山本 博幸  | 内科学第一講座 | 6,300,000  | 補委 日本学術振興会 |
| 腸管炎症と発癌に対する幹細胞治療の開発  | 有村 佳昭  | 内科学第一講座 | 800,000    | 補委 日本学術振興会 |
| 三重特異性抗体を用いた進行肝細胞癌に対する治療法の確立  | 佐々木 茂  | 内科学第一講座 | 700,000    | 補委 日本学術振興会 |
| リアルタイム仮想分子生物学による食道癌の内視鏡分子イメージング診断法の開発                              | 山本 博幸  | 内科学第一講座 | 1,500,000  | 補委 日本学術振興会 |
| 炎症性腸疾患に対する献体の未固定標本を活用した骨髄間葉系幹細胞治療の前臨床試験                            | 山下 健太郎 | 内科学第一講座 | 1,500,000  | 補委 日本学術振興会 |
| エピゲノム的アプローチによる未分化型胃癌の早期診断体系の構築                                     | 山本 英一郎 | 内科学第一講座 | 900,000    | 補委 日本学術振興会 |
| 消化器癌の遺伝子異常の網羅的探索とそれらをターゲットにした標的治療の臨床への応用                           | 能正 勝彦  | 内科学第一講座 | 1,700,000  | 補委 日本学術振興会 |
| 骨髄微小環境における骨髄腫細胞と単球及び骨髄ストローマの細胞との相互作用の解析                            | 池田 博   | 内科学第一講座 | 2,100,000  | 補委 日本学術振興会 |
| ミトコンドリア透過性遷移孔を制御する蛋白キナーゼ系の解明                                       | 三浦 哲嗣  | 内科学第二講座 | 2,300,000  | 補委 日本学術振興会 |
| 大規模コホート共同研究の発展による危険因子管理の優先順位の把握と個人リスク評価に関するエビデンスの構築                | 斎藤 重幸  | 内科学第二講座 | 1,900,000  | 補委 慶應義塾大学  |
| 2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究 | 斎藤 重幸  | 内科学第二講座 | 500,000    | 補委 滋賀医科大学  |
| 2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究 | 斎藤 重幸  | 内科学第二講座 | 200,000    | 補委 滋賀医科大学  |
| 蛋白脱アセチル化酵素SIRT1の核移行誘導による心不全治療の開発                                   | 丹野 雅也  | 内科学第二講座 | 1,900,000  | 補委 日本学術振興会 |
| 血管内皮機能と血圧制御における脂肪酸結合タンパクの役割解明                                      | 古橋 真人  | 内科学第二講座 | 2,400,000  | 補委 日本学術振興会 |
| 肺コレクチンが有する急性肺障害制御機能の臨床応用化への橋渡し                                     | 高橋 弘毅  | 内科学第三講座 | 2,200,000  | 補委 日本学術振興会 |

|  |        |         |            |    |            |
|--|--------|---------|------------|----|------------|
| びまん性肺疾患に関する調査研究                                | 高橋 弘毅  | 内科学第三講座 | 1,000,000  | 補委 | 自治医科大学     |
| 特発性肺線維症急性増悪及び薬剤性肺障害に関する日本人特異的遺伝素因に関する研究        | 千葉 弘文  | 内科学第三講座 | 250,000    | 補委 | 埼玉医科大学     |
| 肺サーファクタント蛋白質Aによる非感染性肺障害の炎症制御                   | 黒沼 幸治  | 内科学第三講座 | 1,900,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| 膵がん細胞を標的とした新しい抗がん療法の開発                         | 加藤 淳二  | 内科学第四講座 | 3,000,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| 腫瘍細胞と間質細胞をデュアルターゲットとした新規腫瘍幹細胞根絶法の開発            | 小船 雅義  | 内科学第四講座 | 800,000    | 補委 | 日本学術振興会    |
| 大腸癌特異的に抗がん剤を送達する新規システムの開発                      | 佐藤 康史  | 内科学第四講座 | 1,000,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| mTORを標的としたオートファジー誘導型の新しいB細胞リンパ腫治療法の開発          | 佐藤 勉   | 内科学第四講座 | 1,300,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| 膵癌に対する超音波内視鏡下薬物局注療法及び動注化学療法による新規集学的治療の開発       | 石渡 裕俊  | 内科学第四講座 | 1,200,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| BCL9/ $\beta$ カテニン転写複合体を標的とした新規抗大腸癌ペプチドの臨床応用   | 高田 弘一  | 内科学第四講座 | 1,300,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| 神経変性疾患に対する骨髄幹細胞移植による新規治療法開発の基礎研究               | 下濱 俊   | 神経内科学講座 | 3,400,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| インビトロ血液脳関門システム構築による虚血性脳細胞傷害の病態解析               | 下濱 俊   | 神経内科学講座 | 1,700,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| 重症筋無力症における興奮収縮連関障害の解明                          | 今井 富裕  | 神経内科学講座 | 700,000    | 補委 | 日本学術振興会    |
| ヒストン脱アセチル化酵素SIRTの神経変性疾患の病態生理における機能解析           | 久原 真   | 神経内科学講座 | 700,000    | 補委 | 日本学術振興会    |
| 脳卒中医療と福祉従事者への卒前・卒後教育の地域間格差を克服する生涯教育の開発         | 齊藤 正樹  | 神経内科学講座 | 2,800,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| 幹細胞を中心とした細胞供給システムの解明                           | 鈴木 秀一郎 | 神経内科学講座 | 1,200,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| 肝修復・肝再生における肝組織幹細胞の臨床的・基礎的役割に関する基礎的研究           | 平田 公一  | 外科学第一講座 | 3,100,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| 免疫逃避を制御するHDAC阻害剤併用によるワクチン療法の開発                 | 平田 公一  | 外科学第一講座 | 1,000,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究       | 平田 公一  | 外科学第一講座 | 25,000,000 | 補委 | 厚生労働省      |
| 国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベースや医療機関データベースの質の向上に関する研究 | 平田 公一  | 外科学第一講座 | 5,000,000  | 補委 | 国立がん研究センター |
| 間質細胞を介した新しい大腸癌治療法の開発                           | 古畑 智久  | 外科学第一講座 | 700,000    | 補委 | 日本学術振興会    |
| 超冷却プログラムによるヒト小型肝細胞バンクとハイブリットマウス量産に向けた研究        | 水口 徹   | 外科学第一講座 | 1,500,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| ヒト胃癌細胞の転移形式別にみた特異的転移関連因子の解析                    | 木村 康利  | 外科学第一講座 | 700,000    | 補委 | 日本学術振興会    |
| 幹細胞移植が障害肝および外科侵襲に与える影響に関する研究                   | 中村 幸雄  | 外科学第一講座 | 2,100,000  | 補委 | 日本学術振興会    |
| 熱・振動・圧力低エネルギー複合化による新しい生体組織接合技術の確立              | 樋上 哲哉  | 外科学第二講座 | 1,000,000  | 補委 | 茨城大学       |
| 難治性疼痛の実態の解明と対策の開発に関する研究                        | 山下 敏彦  | 整形外科講座  | 1,000,000  | 補委 | 愛知医科大学     |



|  |       |          |           |    |                  |
|--|-------|----------|-----------|----|------------------|
| 腰痛の診断、治療に関する研究「腰部脊髄管狭窄症の診断・治療法の開発」                                 | 山下 敏彦 | 整形外科科学講座 | 800,000   | 補委 | 千葉大学             |
| シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究                                     | 山下 敏彦 | 整形外科科学講座 | 1,000,000 | 補委 | 京都府立医科大学         |
| 脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究                                       | 山下 敏彦 | 整形外科科学講座 | 500,000   | 補委 | 愛知医科大学           |
| 骨粗鬆症にともなう慢性疼痛の病態解明   | 射場 浩介 | 整形外科科学講座 | 2,100,000 | 補委 | 日本学術振興会          |
| ロボットシステムを用いた足関節-距骨下関節複合体の生体力学的研究                                   | 渡邊 耕太 | 整形外科科学講座 | 700,000   | 補委 | 日本学術振興会          |
| 慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究                                  | 竹林 庸雄 | 整形外科科学講座 | 600,000   | 補委 | 福島県立医科大学         |
| 高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究  | 和田 卓郎 | 整形外科科学講座 | 150,000   | 補委 | 九州大学             |
| 放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療に関する研究                                   | 三國 信啓 | 脳神経外科学講座 | 150,000   | 補委 | 山形大学             |
| 脳脊髄液減少症の診断・治療法確立に関する研究   | 三國 信啓 | 脳神経外科学講座 | 1,000,000 | 補委 | 山形大学             |
| 脳梗塞に対する間葉系幹細胞移植におけるガングリオシドの神経再生への関与                                | 三上 毅  | 脳神経外科学講座 | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会          |
| 骨髄間葉系幹細胞の移植免疫における基礎解析  | 鰐淵 昌彦 | 脳神経外科学講座 | 1,700,000 | 補委 | 日本学術振興会          |
| 骨髄幹細胞治療の特性を利用した脳動脈瘤に対する血管内治療                                       | 飯星 智史 | 脳神経外科学講座 | 700,000   | 補委 | 日本学術振興会          |
| 神経幹細胞と癌幹細胞の比較解析  | 秋山 幸功 | 脳神経外科学講座 | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会          |
| 婦人科腫瘍でのギャップ結合を介するバイスタンダー効果の遺伝子治療への応用                               | 斉藤 豪  | 産婦人科学講座  | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会          |
| ガンシクロビル耐性ヒトサイトメガロウイルスのUL97遺伝子変異に関する研究                              | 堤 裕幸  | 小児科学講座   | 800,000   | 補委 | 日本学術振興会          |
| ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除、およびワクチンで予防可能疾患の疫学並びにワクチンの有用性に関する基礎的臨床的研究 | 堤 裕幸  | 小児科学講座   | 1,900,000 | 補委 | 国立感染症研究所         |
| 急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究                                  | 堤 裕幸  | 小児科学講座   | 600,000   | 補委 | 和歌山県立医科大学        |
| ヒトパルボウイルスB19のゲノム変異が感染様式または病態に与える影響                                 | 要藤 裕孝 | 小児科学講座   | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会          |
| 小児期のウイルス性肝炎に対する治療法の標準化に関する研究                                       | 要藤 裕孝 | 小児科学講座   | 1,500,000 | 補委 | 大阪府立急性期・総合医療センター |
| 2本鎖RNAの抗RSウイルス作用を媒介するメディエーターの解明                                    | 永井 和重 | 小児科学講座   | 500,000   | 補委 | 日本学術振興会          |
| 急性移植片対宿主病分子マーカーCCL8の分子機能解析   | 山本 雅樹 | 小児科学講座   | 1,400,000 | 補委 | 日本学術振興会          |
| 視細胞特異蛋白質リカバリンの癌異所発現がもたらす癌関連網膜症発症機序の解明                              | 大黒 浩  | 眼科学講座    | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会          |
| 高解像度MRIを用いた視神経疾患における神経内代謝物質の組成解析                                   | 橋本 雅人 | 眼科学講座    | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会          |
| SIRT1を標的とする新しいメラノーマ治療の展開   | 山下 利春 | 皮膚科学講座   | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会          |

|  |        |          |           |    |                     |
|--|--------|----------|-----------|----|---------------------|
| 遺伝性対側性および汎発性色素異常症の本邦における診療実態の把握、治療指針の作成と新治療戦略の開発 | 山下 利春  | 皮膚科学講座   | 500,000   | 補委 | 名古屋大学               |
| 線維性皮膚炎における骨髄由来間葉系前駆細胞の分化異常と過剰癒痕の形成機序             | 小野 一郎  | 皮膚科学講座   | 200,000   | 補委 | 東邦大学                |
| メラノサイト・ケラチノサイト共培養系を用いた細胞間メラノソーム転送機構の解析           | 肥田 時征  | 皮膚科学講座   | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 色素性乾皮症の迅速相補群診断法                                  | 黄倉 真恵  | 皮膚科学講座   | 600,000   | 補委 | 日本学術振興会             |
| がん研究分野の特性等を踏まえた支援活動                              | 塚本 泰司  | 泌尿器科学講座  | 1,000,000 | 補委 | 東京大学                |
| 高悪性度禁層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究          | 塚本 泰司  | 泌尿器科学講座  | 8,607,000 | 補委 | 厚生労働省               |
| 膀胱癌に対する再発予防がんワクチン療法の確立                           | 北村 寛   | 泌尿器科学講座  | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 腎細胞癌におけるPHD3の機能解析および臨床応用のための研究                   | 田中 俊明  | 泌尿器科学講座  | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 前立腺神経内分泌細胞による前立腺癌進展機構の解明                         | 橋本 浩平  | 泌尿器科学講座  | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 尿路におけるサーファクタント蛋白質(SP-A、SP-D)の感染防御機構の解明           | 栗村 雄一郎 | 泌尿器科学講座  | 2,100,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| ヒト鼻粘膜における粘膜上皮-免疫細胞相互作用のEPIMMUNOME解析              | 氷見 徹夫  | 耳鼻咽喉科学講座 | 5,400,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 好酸球性副鼻腔炎の疫学、診断基準作成等に関する研究                        | 氷見 徹夫  | 耳鼻咽喉科学講座 | 400,000   | 補委 | 福井大学                |
| ヒト鼻粘膜上皮におけるDDSを介する抗原提示細胞の機能解析および分化誘導             | 郷 充    | 耳鼻咽喉科学講座 | 2,100,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 粘膜上皮と上皮内樹状細胞の相互作用制御による抗原認識機構の調節                  | 黒瀬 誠   | 耳鼻咽喉科学講座 | 1,200,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 上気道粘膜上皮におけるウイルス認識受容体を介した生体防御機構の検討                | 大國 毅   | 耳鼻咽喉科学講座 | 2,100,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 小児睡眠呼吸障害診断ガイドライン作成のための研究                         | 新谷 朋子  | 耳鼻咽喉科学講座 | 200,000   | 補委 | 滋賀医科大学              |
| 神経回路発達障害は小児期の認知・行動異常を説明するかー精神機能と神経幹細胞移植ー         | 齋藤 利和  | 神経精神医学講座 | 3,900,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| わが国における飲酒の実態把握およびアルコールに関する生活習慣病とその対策に関する総合的研究    | 齋藤 利和  | 神経精神医学講座 | 800,000   | 補委 | 国立病院機構久里浜アルコール症センター |
| 脳を育てるうつ病治療：中枢-末梢両面からの脳神経回路網修復促進機構の解明             | 橋本 恵理  | 神経精神医学講座 | 1,400,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 統合失調症の社会機能回復ー薬物・細胞併用療法は言語・共感性の脳回路を修復するかー         | 鵜飼 渉   | 神経精神医学講座 | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 脳機能の性差に着目した広汎性発達障害の病態解明と診断補助ツールの開発               | 館農 勝   | 神経精神医学講座 | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 慢性C型肝炎のインターフェロン療法における幹細胞機能の変化とうつ病発症に関する基礎・臨床連携研究 | 鵜飼 渉   | 神経精神医学講座 | 1,000,000 | 補委 | 名古屋市立大学             |
| 顆粒球コロニー刺激因子による精神疾患への細胞治療の開発                      | 吉永 敏弘  | 神経精神医学講座 | 1,400,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| レビー小体型認知症における診断マーカー                              | 小林 清樹  | 神経精神医学講座 | 1,100,000 | 補委 | 日本学術振興会             |
| 社会脳の再生：FASDモデルにおけるエピジェネティック異常の改善と神経回路網修復         | 白坂 知彦  | 神経精神医学講座 | 1,400,000 | 補委 | 日本学術振興会             |

|  |        |               |           |    |                |
|--|--------|---------------|-----------|----|----------------|
| 早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究            | 晴山 雅人  | 放射線医学講座       | 350,000   | 補委 | 東北大学           |
| 放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究             | 晴山 雅人  | 放射線医学講座       | 500,000   | 補委 | 昭和大学           |
| 放射線増感剤ギメラシルの臨床応用に向けた研究                     | 坂田 耕一  | 放射線医学講座       | 900,000   | 補委 | 日本学術振興会        |
| 分子標的放射線増感剤の研究                              | 染谷 正則  | 放射線医学講座       | 1,400,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| 頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究          | 中田 健生  | 放射線医学講座       | 400,000   | 補委 | 近畿大学           |
| 新しい三者併用療法の開発～放射線治療＋温熱療法＋増感剤～               | 高木 克   | 放射線医学講座       | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| 新しい吸入麻酔薬デスフルランの気道過敏性亢進作用の機序解明              | 山蔭 道明  | 麻酔科学講座        | 900,000   | 補委 | 日本学術振興会        |
| TACR1遺伝子エピジェネティック修飾解析を用いた麻薬による嘔吐発症機序の解明    | 杉野 繁一  | 麻酔科学講座        | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| 肺血症時の神経筋伝達能に関する病態生理の解明と有効な治療法の確立           | 新谷 知久  | 麻酔科学講座        | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| GABA受容体β3遺伝子多型解析によるプロポフォール作用機序の解明          | 名和 由布子 | 麻酔科学講座        | 2,600,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| 抗IAP抗体スクリーニングアレイを用いた癌診断法の実用化               | 渡邊 直樹  | 臨床検査医学講座      | 3,200,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| 胚性幹細胞複製分子を用いた新たな肺癌診断マーカーの開発                | 小林 大介  | 臨床検査医学講座      | 800,000   | 補委 | 日本学術振興会        |
| 自己抗体の発現パターンによる骨髄不全症候群の病型分類                 | 栗林 景晶  | 臨床検査医学講座      | 2,200,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| 救急医療体制の推進に関する研究                            | 浅井 康文  | 救急・集中治療医学講座   | 120,000   | 補委 | 国立病院機構災害医療センター |
| 有機リン中毒性痙攣に対するアトロピンおよびプラリドキシムの治療的効果の実験的検証   | 成松 英智  | 救急・集中治療医学講座   | 1,500,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| カルシトニン遺伝子関連ペプチドファミリーによる痛みの機序解明             | 成松 英智  | 救急・集中治療医学講座   | 100,000   | 補委 | 信州大学           |
| 急性心筋梗塞に対する病院前救護や遠隔医療等を含めた超急性期診療体制の構築に関する研究 | 長谷 守   | 救急・集中治療医学講座   | 500,000   | 補委 | 国立循環器病センター     |
| 蘇生後脳症に対する幹細胞移植のトランスレーショナルリサーチ              | 宮田 圭   | 救急・集中治療医学講座   | 600,000   | 補委 | 日本学術振興会        |
| 口腔がんにおけるβカテニン遺伝子異常の解析とがん治療への応用             | 平塚 博義  | 口腔外科学講座       | 4,600,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| 口腔がんに対するがんペプチドワクチン療法の開発                    | 宮崎 晃亘  | 口腔外科学講座       | 1,000,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| 口腔癌におけるDKK遺伝子の発現解析と分子標的の開発                 | 曾我部 陽平 | 口腔外科学講座       | 1,700,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| 外傷性脳損傷者の復職指導に関する研究－「職業の認知的要求尺度」作成の試み－      | 石合 純夫  | リハビリテーション医学講座 | 1,300,000 | 補委 | 日本学術振興会        |
| 都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応               | 石合 純夫  | リハビリテーション医学講座 | 4,000,000 | 補委 | 筑波大学           |
| 半側空間無視に対するプリズム順応を用いた治療に関する検討               | 太田 久晶  | リハビリテーション医学講座 | 300,000   | 補委 | 日本学術振興会        |
| 「慢性疼痛患者の語り」データベース化への試み                     | 本間 真理  | リハビリテーション医学講座 | 70,000    | 補委 | 東海大学           |

|   |       |                     |             |    |                      |
|---|-------|---------------------|-------------|----|----------------------|
| 介護家族と介護職のウェルビーイングに関する定性的・定量的両手法による融合的研究 | 本間 真理 | リハビリテーション医学講座       | 100,000     | 補委 | 北翔大学                 |
| klothoマウスを用いたヒト老化皮膚潰瘍モデルによる治癒遅延メカニズムの解明 | 山下 建  | 形成外科学               | 600,000     | 補委 | 日本学術振興会              |
| 局所免疫寛容を誘導する同種再構築皮膚の開発に関する基礎研究           | 松本 佳隆 | 形成外科学               | 700,000     | 補委 | 日本学術振興会              |
| 拡散テンソル画像による神経筋疾患の非侵襲的病勢評価方法             | 畠中 正光 | 放射線診断学              | 304,177     | 補委 | 日本学術振興会              |
| MRI所見による新たな食道癌治療効果判定法の確立                | 畠中 正光 | 放射線診断学              | 150,100     | 補委 | 独立行政法人国立病院機構九州がんセンター |
| 亜急性期の脳梗塞に対する遺伝子組換え骨髄幹細胞移植の検討            | 本望 修  | フロンティア医学研究所神経再生医療学部 | 3,600,000   | 補委 | 日本学術振興会              |
| 脳梗塞患者に対する自家培養骨髄間葉系幹細胞の静脈内投与による細胞療法の検討   | 本望 修  | フロンティア医学研究所神経再生医療学部 | 182,620,000 | 補委 | 文部科学省                |
| 骨軟部肉腫の新規腫瘍抗原を標的としたペプチドワクチン療法の開発         | 和田 卓郎 | 道民医療推進学講座           | 1,600,000   | 補委 | 日本学術振興会              |
| 再生医療技術を応用した四肢の拘縮性偽関節の治療に関する研究           | 和田 卓郎 | 道民医療推進学講座           | 150,000     | 補委 | 奈良県立医科大学             |
| 若年女性への「乳がん」教育による意識改革の効果の検討              | 大村 東生 | 道民医療推進学講座           | 800,000     | 補委 | 日本学術振興会              |
| 難治性形質細胞疾患の臨床病態に関連したエピジェネティック異常の解析       | 安井 寛  | 道民医療推進学講座           | 1,400,000   | 補委 | 日本学術振興会              |
| メタボリックシンドロームにおける発癌リスク診断マーカーの開発          | 山本 博幸 | 内科学第一講座             | 1,700,000   | 補委 | 科学技術振興機構             |
| 平成23年度農林水産省委託事業                         | 齋藤 重幸 | 内科学第二講座             | 6,348,000   | 補委 | 京都府立医科大学             |
| 平成23年度 子供の健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)         | 遠藤 俊明 | 産婦人科学講座             | 1,916,000   | 補委 | 北海道大学                |
| 浸潤性膀胱がんの予後改善をめざした集学的治療の研究               | 塚本 泰司 | 泌尿器科学講座             | 800,000     | 補委 | 国立がん研究センター           |
| アルコール依存症の脳内神経ネットワーク障害に関する研究             | 齋藤 利和 | 神経精神医学講座            | 940,000     | 補委 | 国立精神神経医療研究センター       |
| 軟骨部腫瘍(GISTを含む)の病理診断基準の確立と補助的病理診断法の標準化   | 長谷川 匡 | 病理診断学               | 1,400,000   | 補委 | 国立がん研究センター           |
| 幹細胞抗原特異的ワクチン療法の開発に向けた肉腫幹細胞の同定と免疫学的特性の解明 | 和田 卓郎 | 道民医療推進学講座           | 1,300,000   | 補委 | 国立がん研究センター           |

計139件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

✓

## (様式第11)

## 2 論文発表等の実績

| 雑誌名                              | 題名   | 発表者氏名         | 所属部門 |
|----------------------------------|--|---------------|------|
| Digestion 2011, 83:241-249       | Role of DNA methylation in the development of diffuse-type gastric cancer.   | Shinomura Y   | 第一内科 |
| Curr Immunol Rev 2011, 7:162-171 | Mikulicz's disease and its extraglandular lesions  | Shinomura Y   | 第一内科 |
| Cancer 2011, 117:3135-3147       | Insulin-like growth factor-I receptor blockade reduces tumor angiogenesis and enhances the effects of bevacizumab for a human gastric cancer cell line, MKN45. | Shinomura Y   | 第一内科 |
| Int J Oncol 2011, 39:593-599     | Co-expression of laminin $\beta$ 3 and $\gamma$ 2 chains and epigenetic inactivation of laminin $\alpha$ 3 chain in gastric cancer.                            | Shinomura Y   | 第一内科 |
| Int J Clin Med 2011, 2:570-575   | Efficacy of long-term treatment with low-dose thalidomide for patients with relapsed/refractory multiple myeloma.  | Shinomura Y   | 第一内科 |
| PLoS ONE 2011, 6:e19618          | Interferon- $\alpha$ / $\beta$ and anti-Fibroblast Growth Factor Receptor 1 monoclonal antibody suppress hepatic cancer cells in vitro and in vivo.            | Shinomura Y   | 第一内科 |
| Oncol Lett 2011, 2:95-100        | Detection of fecal interferon induced transmembrane protein messenger RNA for colorectal cancer screening.   | Shinomura Y   | 第一内科 |
| J Gastroenterol 2011, 46:143-152 | Myogenic lineage differentiated mesenchymal stem cells enhance recovery from dextran sulfate sodium-induced colitis in the rat.                                | Shinomura Y   | 第一内科 |
| Endoscopy. 2011, 43:184-189.     | Risk of perforation during dilation for esophageal strictures after endoscopic resection in patients with early squamous cell carcinoma                        | Shinomura Y   | 第一内科 |
| Mod Rheumatol 2011, 22:419-25    | Value of serum IgG4 in the diagnosis of IgG4-related disease and in differentiation from rheumatic diseases and other diseases.                                | Shinomura Y   | 第一内科 |
| Respir Res 2011                  | The clinical significance of 5% change in vital capacity in patients with idiopathic pulmonary fibrosis: extended analysis of the pirfenidone trial.           | Takahashi H   | 第三内科 |
| Lab Invest 2011                  | SOX2 is overexpressed in stem-like cells of human lung adenocarcinoma and augments the tumorigenicity.   | Nakatsugawa M | 第三内科 |
| J Biol Chem 2011                 | Pulmonary surfactant protein A protects lung epithelium from cytotoxicity of human $\beta$ -defensin 3.  | Saito A       | 第三内科 |

|   |  |       |      |
|---|--|-------|------|
| PLoS One 2012;<br>7(7):e39545                     | Targeting anticancer drug delivery to pancreatic cancer cells using a fucose-bound nanoparticle approach   | 吉田 真誠 | 第4内科 |
| Intern Med<br>2012;51(15):2011-4                  | Successful treatment by fibrin glue sealant for pneumothorax with chronic GVHD resistant to autologous blood patch pleurodesis   | 井山 諭  | 第4内科 |
| Blood Coagul<br>Fibrinolysis<br>2012;23(6):548-50 | Intermittent administration of recombinant human soluble thrombomodulin successfully controlled chronic disseminated intravascular coagulation in a patient with dissecting aortic aneurysm on an outpatient basis | 井山 諭  | 第4内科 |
| Free Radic Biol Med<br>2012;53(4):643-8           | Improvement of iron-mediated oxidative DNA damage in patients with transfusion-dependent myelodysplastic syndrome by treatment with deferasirox  | 菊地尚平  | 第4内科 |
| Int J Hematol<br>2012;95(5):527-34                | Prognostic significance of serum ferritin level at diagnosis in myelodysplastic syndrome   | 菊地尚平  | 第4内科 |
| Int J Clin Oncol 2011<br>[Epub ahead of print]    | A phase I trial of arterial infusion chemotherapy with gemcitabine and 5-fluorouracil for unresectable biliary tract cancer  | 林 毅   | 第4内科 |
| Hepatol Res<br>2011;41(7):660-7                   | Iron chelator deferasirox rescued mice from Fas-induced fulminant hepatitis  | 佐藤 勉  | 第4内科 |
| Int J Hematol<br>2011;94(1):101-3                 | Novel missense mutation in the TMPRSS6 gene in a Japanese female with iron-refractory iron deficiency anemia   | 佐藤 勉  | 第4内科 |
| Int J Hematol<br>2011;93(6):715-9                 | Establishment of a simple test for iron absorption from the gastrointestinal tract   | 小船雅義  | 第4内科 |
| 日本内科学会雑誌  | Dementia: progress in diagnosis and treatment; Topics, I. Basic knowledge of dementia and pathophysiology; 1. The concept and pathophysiology of dementia of Alzheimer-type  | 下濱俊   | 神経内科 |
| Neurosci Lett. 2011                               | Mesenchymal stem cells transmigrate across brain microvascular endothelial cell monolayers through transiently formed inter-endothelial gaps   | 松下隆司  | 神経内科 |
| J Alzheimers Dis. 2011                            | Stimulating nicotinic receptors trigger multiple pathways attenuating cytotoxicity in models of Alzheimer's and Parkinson's diseases.  | 川又 純  | 神経内科 |
| 外科治療  | 急性膵炎診療ガイドライン   | 平田公一  | 第一外科 |
| 消化器外科   | 噴門側胃切除空腸嚢間置術   | 平田公一  | 第一外科 |

|                                |  |       |      |
|--------------------------------|--|-------|------|
| 消化器外科                          | 術野の展開と視野の確保 基本的な考え方と方法   | 平田公一  | 第一外科 |
| The World on Digestive Surgery | 膵頭部癌に対する術前胆道ドレナージ  | 平田公一  | 第一外科 |
| 日本臨床 増刊 大腸癌                    | 【大腸癌 最新の研究動向】大腸癌の予後因子 血清CEA値は大腸癌の予後因子となりうるか(術前、再発時)  | 古畑智久  | 第一外科 |
| 日本臨床外科学会雑誌                     | 高CA19-9血症を呈したS状結腸憩室症の1例  | 古畑智久  | 第一外科 |
| Surg Today 2011                | Laparoscopic hepatectomy: a systematic review, meta-analysis and power analysis.   | 水口 徹  | 第一外科 |
| J Gastroint Surg 2011          | Prognostic impact of preoperative branched-chain amino acids to the tyrosine ratio level in hepatocellular carcinoma patients after initial hepatectomy. | 水口 徹  | 第一外科 |
| 肝胆膵                            | 膵神経内分泌腫瘍update2011; インスリノーマの臨床診断   | 木村 康利 | 第一外科 |
| 消化器外科                          | StageIV胃癌に対する積極的化学療法後の胃切除の安全性  | 信岡 隆幸 | 第一外科 |
| 外科                             | 大腸癌の卵巣・子宮・膣浸潤  | 沖田 憲司 | 第一外科 |
| 外科治療                           | 膵癌の治療の実際: 膵体尾部癌に対する腹腔鏡下手術の手技   | 今村 将史 | 第一外科 |
| Int J Hepatol 2011             | The molecular pathogenesis and clinical implications of hepatocellular carcinoma.  | 目黒 誠  | 第一外科 |
| 消化器外科                          | 【緊急手術の適応と手術手技の実際】急性胆嚢炎・急性胆管炎   | 目黒 誠  | 第一外科 |
| 北海道外科雑誌                        | von Recklinghausen病に合併した同時性両側非浸潤性乳癌の1例   | 九富五郎  | 第一外科 |
| World J Gastroenterol. 2011    | Vascular endothelial growth factor 165b expression in stromal cells and colorectal cancer.   | 田山 誠  | 第一外科 |

|   |   |                |      |
|---|---|----------------|------|
| Surgery 2011                                      | Cluster analysis of liver functional indicators and preoperative low BTR indicate high risk of early recurrence in analysis of 165 HCC patients after initial hepatectomy | 中村 幸雄          | 第一外科 |
| Surgery Frontier                                  | 障害肝と肝細胞移植   | 中村 幸雄          | 第一外科 |
| Nature Genetics.2010                              | A genome-wide association study identifies genetic variants in the CDKN2BAS locus associated with endometriosis in Japanese   | 宇野智子           | 第一外科 |
| Expert Rev Anticancer Therapy.2011                | Should CYP2D6 inhibitors be administered in conjunction with tamoxifen?   | 前佛 均           | 第一外科 |
| J Artif Organs. 2011 Dec;14(4):289-93             | Influence of pressure load on durability of pulmonic xenobioprostheses in young adults.   | 高木伸之           | 第二外科 |
| Pulm Med. 2011;2011:960316                        | Postoperative Acute Exacerbation of IPF after Lung Resection for Primary Lung Cancer.   | 渡辺 敦           | 第二外科 |
| Surg Today. 2011 Jun;41(6):774-9.                 | Feasibility and safety of postoperative management without chest tube placement after thoracoscopic wedge resection of the lung.  | 中島慎治           | 第二外科 |
| 日本冠疾患学会雑誌 (1341-7703)17巻3号 Page180-184(2011.10)   | 高齢者(80歳以上)における両側内胸動脈を中心とした全動脈グラフトによるoff-pump CABG   | 山内昭彦           | 第二外科 |
| 日本心臓血管外科学会雑誌(0285-1474)40巻6号 Page269-271(2011.11) | 胸骨裏面の用指挙上による再胸骨正中切開法  | 山内昭彦           | 第二外科 |
| 北海道外科雑誌(0288-7509)56巻1号 Page26-30(2011.06)        | 悪性腫瘍手術時にePTFE人工血管によって再建された下大静脈の早期開存性  | 伊藤寿朗           | 第二外科 |
| 北海道外科雑誌(0288-7509)56巻1号 Page13-19(2011.06)        | 肺癌に対する外科治療と化学療法 最近の知見   | 渡辺 敦           | 第二外科 |
| Pain 152: 1024-1032, 2011.                        | Changes in synaptic transmission of substantia gelatinosa neurons in a rat model of lumbar radicular pain revealed by in vivo patch-clamp recording.                      | Terashima Y.   | 整形外科 |
| J Spine Res 2:384-386, 2011.                      | Selective laminoplasty with foraminotomy for cervical spondylotic amyotrophy.   | Takebayashi T. | 整形外科 |
| Cancer Sci 102: 1443-1447, 2011.                  | Autologous CTL response against cancer stem-like cells/ cancer-initiating cells of bone malignant fibrous histiocytoma.   | Kano M.        | 整形外科 |



|   |   |              |      |
|---|---|--------------|------|
| Clin Orthop Relat Res<br>469: 2568-2576,2011. | Does norepinephrine influence pain behavior mediated by dorsal root ganglia? A pilot study.   | Tanimoto K.  | 整形外科 |
| Euro Spine J 20: 649-54,<br>2011.             | Pyogenic spondylitis in the elderly: a report from Japan with the most aging society.   | Yoshimoto M. | 整形外科 |
| Am J Sports Med<br>39:2226-32,2011.           | Comparison of different fixation methods of the suture-button implant for tibiofibular syndesmosis injuries.  | Teramoto A.  | 整形外科 |
| J Plast Hand Surg<br>45:238-243, 2011.        | New Method of assessing pinch function in children with anomalies of the hands.   | Iba K.       | 整形外科 |
| J Orthop Sci 16:71-<br>76,2011.               | Course of NTX changes under continuous bisphosphonate treatment in the cases of NTX over-reduction due to long-term treatment with bisphosphonate.  | Iba K.       | 整形外科 |
| J Bone Joint Surg Am<br>93:1619-26, 2011.     | Clinical outcomes of corrective osteotomy for distal radial malunion: a review of opening and closing-wedge techniques.   | Wada T.      | 整形外科 |
| J Spine 1:103, 2011                           | Fusion status and clinical outcomes at one year and two years of instrumented, local bone transforaminal lumbar interbody fusion.   | Kawagichi S. | 整形外科 |
| Pediatr Intl                                  | Infantile acute promyelocytic leukemia without an RAR $\alpha$ rearrangement.   | Hori T.      | 小児科  |
| Pediatr Transplant                            | Platelet transfusion refractoriness due to HLA antibodies possibly produced by donor-derived cells in two patients after allogeneic bone marrow transplantation from one HLA-antigen mismatched mother. | Hatakeyama N | 小児科  |
| Exp Hematol                                   | Early expression of plasma CCL8 closely correlates with survival rate of acute graft-vs.-host disease in mice.  | Yamamoto M   | 小児科  |
| Microbiol Immunol                             | Human cytomegalovirus UL97 D605E polymorphism has a high prevalence in immunocompetent Japanese infants and children.   | Tanaka K     | 小児科  |
| Int J Hematol                                 | An evaluation of peripherally inserted central venous catheters for children with cancer requiring long-term venous access.   | Hatakeyama N | 小児科  |
| Clin Pediatr Endocrinol                       | Treatment of hypothyroidism due to iodine deficiency using daily powdered help in patients receiving long-term total enteral nutrition.   | Tekeuchi T   | 小児科  |
| Pediatr Intl                                  | New mutation of CACNA1A gene in episodic ataxia type2.  | Nikaido K    | 小児科  |

|   |  |               |      |
|---|--|---------------|------|
| Eur J Neurol                            | A new mutation of GCH1 gene in identical triplets family with dopa-responsive dystonia.                                      | Tachi N       | 小児科  |
| Scand J Infect Dis                      | Clinical characteristics and computed tomography findings in children with 2009 pandemic influenza A (H1N1) viral pneumonia. | Mori T        | 小児科  |
| Pediatr Intl                            | Rotavirus encephalitis and cerebellitis with reversible magnetic response signal changes.                                    | Mori T        | 小児科  |
| J Cutan Aesthet Surg 4, 98-104, 2011    | A Study on the Alterations in Skin Viscoelasticity before and after an Intradermal Administration of Growth Factor.          | Ono I         | 皮膚科  |
| Eur J Dermatol 22, 121-4, 2012          | Pigmented mammary Paget's disease mimicking melanoma: report of three cases.   | Hida T        | 皮膚科  |
| 成人病と生活習慣病 41, 1106-9, 2011              | 皮膚癌のバイオマーカー  | 肥田時征          | 皮膚科  |
| Skin Cancer 26, 85-8, 2011              | 色素法とRI法併用によるセンチネルリンパ節生検を施行した悪性黒色腫44例の解析.   | 柳澤健二          | 皮膚科  |
| 皮膚科の臨床 53, 1323-7, 2011                 | 進行期有棘細胞癌に対しテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合カプセル剤(TS-1)内服療法を施行した2例  | 山田南穂          | 皮膚科  |
| 周産期医学. 東京:東京医学社. 2011; 41(6): p836-840. | 【特集】周産期の皮膚疾患・形成外科疾患カラーアトラス   | 四ッ柳高敏         | 形成外科 |
| 第6版標準形成外科学. 東京:医学書院. 2011; p205-208.    | 糖尿病性足潰瘍  | 四ッ柳高敏         | 形成外科 |
| PEPARS. 東京:全日本病院出版会. 2011;49: 39-45.    | 特集/口唇部周囲の組織欠損 III. 下口唇再建 局所皮弁による下口唇再建②:下口唇部分欠損に対する機能的再建法   | 山内 誠<br>四ッ柳高敏 | 形成外科 |
| PEPARS. 東京:全日本病院出版会. 2011;58: 40-48     | 特殊な局所皮弁による外鼻再建   | 中川嗣文<br>四ッ柳高敏 | 形成外科 |
| 形成外科. 2011;54(1): 73-78                 | 皮膚切除のデザインを工夫した高度の開瞼困難を有する眼瞼皮膚弛緩症の一例.   | 山内 誠<br>四ッ柳高敏 | 形成外科 |
| 形成外科. 2011;54(3): 235-242.              | 小耳症-私の手術法- 当科における耳垂型 小耳症に対する基本術式   | 四ッ柳高敏         | 形成外科 |

|  |  |                               |      |
|--|--|-------------------------------|------|
| 形成外科. 2011;54(12):<br>1405-1412                            | 軽度耳介変形に対しわれわれが行っている対輪形成術   | 芝山浩樹,<br>四ッ柳高敏                | 形成外科 |
| 日頭顎顔会誌.<br>2011;27(4):341-348.                             | 結節性硬化症に伴う顔面血管線維腫に対し手術治療を行った一例  | 中川嗣文<br>四ッ柳高敏                 | 形成外科 |
| Ann Plast Surg. 2011;<br>67: 547-550.                      | Mozart Ear: Diagnosis, Treatment, and Literature Review.   | Yamashita K                   | 形成外科 |
| J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2012; 65(2): 149-155        | The reverse superficial temporal artery flap from the preauricular region, for the small facial defects.   | Yamauchi M,<br>Yotsuyanagi T, | 形成外科 |
| J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2012; 65(1):132-4.          | Primary reconstruction of the umbilicus, using two rectangular subcutaneous pedicle flaps.   | Arai K, Yamashita K           | 形成外科 |
| Carcinogenesis 32; 462-469, 2011                           | Copy number alterations in urothelial carcinomas: their clinicopathological significance and correlation with DNA methylation alterations.   | Nishiyama N                   | 泌尿器科 |
| The prostate 71; 597-603, 2011                             | Internal prostatic architecture on transrectal ultrasonography predicts future prostatic growth: Nature history of prostatic hyperplasia in a 15-year longitudinal community-based study | Fukuta F                      | 泌尿器科 |
| J Cancer Res Clin Oncol 137; 789-794, 2011                 | Autoantibody against hypoxia-inducible factor prolyl hydroxylase-3 is a potential serological marker for renal cell carcinoma  | Tanaka T                      | 泌尿器科 |
| Cancer Science 102; 1171-1175, 2011                        | Paclitaxel, ifosfamide, and nedaplatin as second-line treatment for patients with metastatic urothelial carcinoma: A phase II study of the SUOC group                                    | Kitamura H                    | 泌尿器科 |
| Journal of Men's Health 8 (Suppl.1); S19-S21, 2011         | Natural history of benign prostatic hyperplasia  | Masumori N                    | 泌尿器科 |
| Int J Clin Oncol 16; 179-185, 2011                         | Role of lymph node dissection in management of bladder cancer  | Kitamura H                    | 泌尿器科 |
| Advances in Urology,<br>doi:<br>10.1155/2011/714978        | The efficacy and safety of propiverine hydrochloride in patients with overactive bladder Symptoms who poorly responded to previous anticholinergic agents                                | Masumori N                    | 泌尿器科 |
| Cancers 3; 3055-3072, 2011                                 | Immunotherapy for urothelial carcinoma: Current status and perspective   | Kitamura H                    | 泌尿器科 |
| Therapeutics and Clinical Risk Management 7; 227-238, 2011 | Naftopidil for the treatment of urinary symptoms in patients with benign prostatic hyperplasia   | Masumori N                    | 泌尿器科 |

|  |  |             |       |
|--|--|-------------|-------|
| J Infect Chemother 17;<br>392-396, 2011                | Clinical efficacy of levofloxacin 500 mg once daily for 7 days for patients with non-gonococcal urethritis | Takahashi S | 泌尿器科  |
| J Infect Chemother 17;<br>76-79, 2011                  | Management for males whose female partners are diagnosed with genital chlamydial Infection                 | Takahashi S | 泌尿器科  |
| あたらしい眼科2011<br>28(6):868-873                           | 併用薬の違いによる1%ドルゾラミド視神経乳頭血流増加作用   | 大黒 幾代       | 眼科    |
| 札幌医学雑誌2011<br>80:23-30                                 | 日本人健常眼における網膜神経線維癌に対する加齢屈折及び眼圧の影響の研究  | 片井 麻貴       | 眼科    |
| あたらしい眼科2011<br>28:1499-1502                            | 下鼻側および下耳側からのTrabeculectomyの術後成績  | 渡部 恵        | 眼科    |
| 中山書店:2011  | paraneoplastic optic neuropathy「専門医のための眼科診療クオリファイ」   | 大黒 浩        | 眼科    |
| 中山書店:2011  | 視神経疾患の画像のオーダー法「専門医のための眼科診療クオリファイ」  | 橋本 雅人       | 眼科    |
| 眼科:2011  | 悪性腫瘍関連網膜症  | 大黒 浩        | 眼科    |
| 臨床眼科:2011  | 眼科医にもわかる生理活性物質と痛疾患の基本  | 大黒 浩        | 眼科    |
| 眼科:2011  | 眼科医の知っておくべき頭部、眼窩画像診断   | 橋本 雅人       | 眼科    |
| Auris Nasus Larynx.<br>2011                            | A novel concept of Mikulicz's disease as IgG4-related disease  | Himi T      | 耳鼻咽喉科 |
| Adv Otorhinolaryngol                                   | Mucosal immune barrier and antigen-presenting system in human nasal epithelial cells                       | Himi T      | 耳鼻咽喉科 |
| International Journal of Otolaryngology<br>volume 2011 | Correlation of local FOXP3-expressing T cells and Th1-Th2 balance in perennial allergic nasal              | Shirasaki H | 耳鼻咽喉科 |
| Allergy International<br>2011                          | Anti-leukotriene therapy may be effective for the treatment of salivary eosinophilic inflammation          | Shirasaki H | 耳鼻咽喉科 |

|                                   |  |             |         |
|-----------------------------------|--|-------------|---------|
| Adv Otorhinolaryngol              | Altered expression of claudin-1, claudin-7, and tricellulin regardless of human papinoma virus infection in human tonsillar squamous cell carcinoma.                                       | Kondoh A    | 耳鼻咽喉科   |
| Otolaryngol Head Neck Surg        | A wen-differentiated liposarcoma of the hypopharynx  | Takano K    | 耳鼻咽喉科   |
| Auris Nasus Larynx                | A clinical study of olfactory dysfunction in patients with Mikulicz's disease  | Takano K    | 耳鼻咽喉科   |
| Int Immunol                       | Extracellular heat shock protein 90 plays a role in translocating chaperoned antigen from endosome to proteasome for generating antigenic peptide to be cross-presented by dendritic cells | Oura J      | 耳鼻咽喉科   |
| Toxicol Appl Pharmacol            | Poly(I:C) reduces expression of JAM-A and induces secretion of IL-8 and TNF- $\alpha$ via distinct NF- $\kappa$ B pathways in human nasal epithelial cells                                 | Ohkuni T    | 耳鼻咽喉科   |
| Auris Nasus Larynx                | Spontaneous regression of the lung lesions after excision of the submandibular gland in a patient with chronic sclerosing sialadenitis   | Seki N      | 耳鼻咽喉科   |
| Clin Exp Allergy                  | The role of IL-33 and its receptor ST 2 in human nasal epithelium with allergic rhinitis   | Kamekura R  | 耳鼻咽喉科   |
| Am J Pathol                       | Arachidonate 5-lipoxygenase establishes adaptive humoral immunity by controning primary B cells and their cognate T-cell help  | Nagashima T | 耳鼻咽喉科   |
| Acta Otolaryngol                  | Epithelial barrier and antigen uptake in lymphoepithelium of human adenoids  | Ogasawara N | 耳鼻咽喉科   |
| Trends Mol Med. 18: 292-297, 2012 | Mesenchymal stem cells: therapeutic outlook for stroke   | Honmou O    | 神経再生医療科 |
| Brain, 134: 1790-1807, 2011       | Intravenous administration of auto serum-expanded autologous mesenchymal stem cells in stroke  | Honmou O    | 神経再生医療科 |
| Pain Med 2011; 12: 1190-5         | Ultrasound-guided cervical nerve root block: spread of solution and clinical effect  | Yamauchi M  | 麻酔科     |
| J Anesth 2011; 25: 603-5          | Intrathecal neurolytic block in a patient with refractory cancer pain  | Watanabe A  | 麻酔科     |
| Anesth Resus 2011; 47: 73-5       | A suspected case of amniotic fluid embolism rescued by ABO-incompatible blood transfusion and operation for a massive obstetric hemorrhage   | Edanaga M   | 麻酔科     |

|   |   |               |     |
|---|---|---------------|-----|
| Anesth Resus 2011; 47: 65-8             | A case of respiratory arrest and laryngeal edema resulting from glycyrrhizin-induced severe hypokalemic myopathy  | Iwasaki S     | 麻酔科 |
| Anesthesiology 2011; 115: 531-40        | Isoflurane differentially modulates mitochondrial reactive oxygen species production via forward versus reverse electron transport flow: implications for preconditioning | Hirata N      | 麻酔科 |
| Langenbecks Arch Surg. 2011; 396:127-32 | Reduction of adhesion formation by an angiotensin type 1 receptor antagonist  | Tokinaga Y    | 麻酔科 |
| Eur J Anaesthesiol 2011; 28: 137-40     | Ultrasound-aided ipsilateral-dominant epidural block for total hip arthroplasty: a randomised controlled single-blind study   | Kawaguchi R   | 麻酔科 |
| Blood Transfusion 2011 ;16 :1-9         | Effects of Helicopter Transport on Red Blood Cell Components  | Taiichi Otani | 麻酔科 |
| J Anesth. 2011; 25:398-404              | Sevoflurane inhibits angiotensin II-induced Rho kinase-mediated contraction of vascular smooth muscle from spontaneously hypertensive rat                                 | Uematsu N     | 麻酔科 |
| Neuroscience 2011; 174: 190-9           | Role of satellite cell-derived L-serine in the dorsal root ganglion in paclitaxel-induced painful peripheral neuropathy   | Kiya T        | 麻酔科 |
| Eur J Anaesthesiol 2011; 28: 519-24     | Synergic bronchodilator effects of a phosphodiesterase 3 inhibitor with a volatile anaesthetic sevoflurane in ovalbumin-sensitized guinea pigs                            | Zhou J        | 麻酔科 |
| J Anesth 2011; 25: 29-33                | Effect of divided supplementation of remifentanyl on seizure duration and hemodynamic responses during electroconvulsive therapy under propofol anesthesia                | Nishikawa K   | 麻酔科 |
| J Anesth 2011; 25: 93-7                 | Efficacy of the Airtraq® laryngoscope with a fiberoptic bronchoscope compared with that of Airtraq® alone for tracheal intubation: a manikin study                        | Nishikawa K   | 麻酔科 |
| 臨床体温2011; 28: 22-6                      | 癌患者および慢性疼痛患者の下肢冷感に対する漢方薬の有用性  | 高橋三佳          | 麻酔科 |
| 臨床麻酔 2011;35: 675-7                     | 耳鼻科手術におけるレミフェンタニル投与下抜管の検討   | 山岸昭夫          | 麻酔科 |
| 臨床麻酔2011;35:916-27                      | 周術期輸液管理の新戦略   | 宮下 龍          | 麻酔科 |
| 救急医療ジャーナル. 2011;19:4-5                  | プロフェッショナリズムとは？ 救急医から救命士への応援メッセージ  | 七戸康夫          | 麻酔科 |

|  |  |           |        |
|--|--|-----------|--------|
| 救急医療ジャーナル.<br>2011;19:31-32                                      | 国立病院機構による災害支援～北海道医療センター<br>の場合   | 七戸康夫      | 麻酔科    |
| Lisa 2011;18 :1186-91  | 麻酔に役立つ血糖のお話 術後の影響を考慮した術<br>中血糖管理 周術期リレーアンカーの集中治療医か<br>ら  | 吉田真一郎     | 麻酔科    |
| J Radiat Res.<br>2011;52(4):464-71                               | Gene Expression Associated with DNA-Dependent<br>Protein Kinase Activity under Normoxia,Hypoxia,and<br>Reoxygenation.  | Sakata K  | 放射線治療科 |
| Br J Cancer. 2011 May<br>24;104(11):1724-9. Epub<br>2011 May 10. | The association of DNA-dependent protein kinase<br>activity of peripheral blood lymphocytes with<br>prognosis of cancer.   | Someya M  | 放射線治療科 |
| Cancer Sci. 2011<br>Sep;102(9):1712-6                            | Gimeracil, an inhibitor of dihydropyrimidine<br>dehydrogenase, inhibits the early step in homologous<br>recombination.   | Sakata K  | 放射線治療科 |
| Medical Physics;<br>2011.38(6)3679 ,<br>J J MP 2011.31(S4):264   | The verification of does information for two-<br>dimensional ion chamber array if UMRT does<br>verification natual information.  | Tateoka K | 放射線治療科 |
| 癌の臨床 2011.56(6):<br>441-443                                      | 放射線増感剤の基礎と臨床 ギメラシルによる放射線<br>増刊作用   | 坂田耕一      | 放射線治療科 |
| Med Phys.<br>2011.38(6):3069-76.                                 | A dosimetry study of the Oncoseed 6711 using glass<br>rod dosimeters and EGS5 Monte Carlo code in a<br>geometry lacking radiation equilibrium scatter<br>conditions.   | Tateoka K | 放射線治療科 |
| Medical<br>Physics.2011.38(6):<br>3679                           | Analysis of Internal Margin Based on Organ<br>Deformation for Prostate IMRT.   | Tateoka K | 放射線治療科 |
| J J MP 2011.31(S4):263   | Consideration of post-graduation elapsed time for<br>does verification using the GAFCHROMIC EBT 2<br>film.   | Tateoka K | 放射線治療科 |
| J J MP 2011.31(S4):264   | Measurement and analysisbof distortion MR image for<br>radiotherapy treatment planning.  | Tateoka K | 放射線治療科 |
| J J MP 2011.31(S4):246   | A methodology for deternubatuib if utberbal margins<br>for respiratory-gated radiotherapy by using end-<br>expiratory phase image.   | Tateoka K | 放射線治療科 |
| J J MP 2011.31(S4):273   | Analytical Method of the accuracy of a bib-rigidi<br>mage registration algorithm.  | Tateoka K | 放射線治療科 |
| Ann Nucl Med. 2012 Mar<br>3                                      | A retrospective study on the transition of radiation<br>dose rate and iodine distribution in patients with I-<br>131-treated well-differentiated thyroid cancer to<br>improve bed control shorten isolation periods. | Yama N    | 放射線治療科 |

|  |   |              |         |
|--|---|--------------|---------|
| Breast Cancer  | Diffusion-weighted imaging (b value = 1500 s/mm <sup>2</sup> ) is useful to decrease false-positive breast cancer cases due to fibrocystic changes.             | Hatakenaka M | 放射線診断科  |
| Journal of Thoracic Imaging (vol.27, No1, pp.18-20)                    | Exogenous lipid pneumonia induced by aspiration of insecticide.   | Hatakenaka M | 放射線診断科  |
| Journal of Thoracic Imaging (vol.27, No1, pp.21-23)                    | Angiomyolipomas of the mediastinum and the lung.  | Hatakenaka M | 放射線診断科  |
| Journal of Cardiovascular Magnetic Resonance                           | Subendocardial contractile impairment in chronic ischemic myocardium: assessment by strain analysis of 3T tagged CMR.   | Hatakenaka M | 放射線診断科  |
| International Journal of Radiation Oncology (vol.83, No1, pp. e67-e73) | Acute Cardiac Impairment Associated with Concurrent Chemoradiotherapy for Esophageal Cancer: Magnetic Resonance Evaluation.                                     | Hatakenaka M | 放射線診断科  |
| Acta Chirurgica Iugoslavica (vol.58, pp. 29-32)                        | Dynamic MR imaging of kidneys perfused with EOB-Gd-DTPA.  | Hyodo K      | 放射線診断科  |
| European Journal of Radiology (vol.81 No.9, pp. 1990-1997)             | Anatomic differences of the distal aorta with dilatation or aneurysm between patients from Asia and Europe as seen on CT imaging.                               | Hyodo H      | 放射線診断科  |
| Journal of Computer Assisted Tomography (vol.35 No.4, pp. 462-467)     | Quantification of Dilated infrarenal Aorta by 64 Multidetector Computed Tomographic Evaluation in Preventing EVAR Complications in Patients of Different Races. | Hyodo H      | 放射線診断科  |
| Cancer Sci. 2011, 2(2): 324-329  | Phase I clinical trial of survivin-derived peptide vaccine therapy for patients with advanced or recurrent oral cancer.   | Miyazaki A,  | 口腔外科学講座 |
| 北海道歯科医師会誌 2011, 66: 119-121  | 口腔カンジダ感染により再発の診断が遅延した口腔扁平上皮癌の3例   | 荻和弘          | 口腔外科学講座 |
| 日本口腔腫瘍学会誌 2011, 23(4): 117-122   | 口腔がん患者に対するsurvivin-2Bペプチドを用いたがんワクチン療法—第I相臨床試験—  | 宮崎晃亘         | 口腔外科学講座 |
| 北海道頭頸部腫瘍研究会誌、2011, 8-11  | 進行・再発口腔がんに対するsurvivin-2Bペプチドワクチン療法の第1相臨床試験  | 小林淳一         | 口腔外科学講座 |
| 日本口腔外科学会誌 2012, 58 (2), 62-66  | 下顎歯肉に生じた混合性結合組織系リン酸塩尿性間葉系腫瘍の1例  | 出張裕也         | 口腔外科学講座 |
| 日本急性血液浄化学会雑誌2 (1), 39-46, 2011   | 急性呼吸不全 (ALI/ARDS) に対する血液浄化療法  | 巽 博臣         | 集中治療医学  |



|                                |  |               |        |
|--------------------------------|--|---------------|--------|
| LiSA 18(6), 568-574, 2011      | 周術期における栄養管理 早期経腸栄養の利点と実践 早期経腸栄養で腸管を刺激し、BTを予防せよ!  | 巽 博臣          | 集中治療医学 |
| 救急医療ジャーナル19(3), 40-45, 2011    | 代謝・栄養障害 消化器外科手術後の栄養障害  | 巽 博臣          | 集中治療医学 |
| Int J Oncol 2011, 38           | SALL4 is essential for cancer cell proliferation and is overexpressed at early clinical stages in breast cancer.   | Kobayashi D   | 検査部    |
| Oncol Rep 2011, 26             | Overexpression of SALL4 in lung cancer and its importance in cell proliferation.   | Kobayashi D   | 検査部    |
| Echocardiography 2011, 28      | Quantitative measurement of circumferential carotid arterial strain by two-dimensional speckle tracking imaging in healthy subjects.                             | Yuda S        | 検査部    |
| Jpn J Infect Dis, 2011 64      | Age, viral copy number, and immunosuppressive therapy affect the duration of norovirus RNA excretion in inpatients diagnosed with norovirus infection.           | Furuya D      | 検査部    |
| Int J Oncol 2011, 38           | (-)-Epigallocatechin-3-gallate induces apoptosis in gastric cancer cell lines by down-regulating survivin expression.  | Onoda C       | 検査部    |
| Int J Oncol 2011, 39           | Sesamin induces autophagy in colon cancer cells by reducing tyrosine phosphorylation of EphA1 and EphB2.   | Tanabe H      | 検査部    |
| Leukemia Res 2012              | Intracellular superoxide dismutase activity defines invasiveness of the murine T - lymphoma cell line L5187-ML25 in vitro and in vivo.                           | Tanaka M      | 検査部    |
| Clinical Microbiol Infect 2012 | Genetic analysis of PVL/ACME-positive methicillin-resistant Staphylococcus aureus in northern Japan: evidence for spread of ST8 CA-MRSA-SCCmec Iva in community. | Kawaguchiya M | 検査部    |
| Am J Pathol 178, 2011          | Cytotoxic T lymphocytes efficiently recognize human colon cancer stem-like cells.  | Inoda S       | 病理診断学  |
| J Immunol 186, 2011            | Tumor-produced secreted form of binding of immunoglobulin protein elicits antigen-specific tumor immunity.   | Tamura Y      | 病理診断学  |
| J Proteomics 74, 2011          | Secernin-1 as a novel prognostic biomarker candidate of synovial sarcoma revealed by proteomics.   | Suehara Y     | 病理診断学  |
| Eur J Dermatol 21, 2011        | Efficacy of taxane regimens in patients with metastatic angiosarcoma.  | Hirata T      | 病理診断学  |

|                           |  |               |       |
|---------------------------|--|---------------|-------|
| Jpn J Clin Oncol 41, 2011 | Primary (de novo) dedifferentiated liposarcoma in the extremities: a multi-institution Tohoku Musculoskeletal Tumor Society study of 18 cases in northern Japan.         | Okada K       | 病理診断学 |
| Jpn J Clin Oncol 41, 2011 | Pf67t1 as a prognostic biomarker for gastrointestinal stromal tumor: validation study in multiple clinical facilities.   | Kubota D      | 病理診断学 |
| Ann Surg Oncol 18, 2011   | Contrasting prognostic implications of platelet-derived growth factor receptor- $\beta$ and vascular endothelial growth factor receptor-2 in patients with angiosarcoma. | Yonemori K    | 病理診断学 |
| Lab Invest 91, 2011       | SOX2 is overexpressed in stem-like cells of human lung adenocarcinoma and augments the tumorigenicity.   | Nakatsugawa M | 病理診断学 |
| Pathol Int 62, 2012       | Detection of specific genetic abnormalities by fluorescence in situ hybridization in soft tissue tumors.   | Miura Y       | 病理診断学 |
| Cancer Res 72, 2012       | Upregulation of miR-196a and HOTAIR drive malignant character in gastrointestinal stromal tumors.  | Niinuma T     | 病理診断学 |

計187件 ✓

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

|         |  |
|---------|--|
| 管理責任者氏名 | 札幌医科大学附属病院長 平田 公一  |
| 管理担当者氏名 | 病院課長 白戸 昌義 / 患者サービスセンター長 横山 秀視 / 薬剤部長 宮本 篤 / 医療安全推進部長 山下 敏彦 / 感染制御部長 渡邊 直樹 |

|  | 保管場所                                       | 管理方法  |
|--|--|---|
| 診療に関する諸記録<br>病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | 病院課、各診療科、カルテ庫、各記録関係部科                      | 病歴資料については、各診療科毎に作成し、カルテ庫で管理（一診療科一カルテ）<br>エックス線写真については、各診療科とカルテ庫において保管管理 |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録   | 従業者数を明らかにする帳簿                              | 総務課   |
|  | 高度の医療の提供の実績                                | 各診療科  |
|  | 高度の医療技術の開発及び評価の実績                          | 各診療科  |
|  | 高度の医療の研修の実績                                | 病院課   |
|  | 閲覧実績                                       | —   |
|  | 紹介患者に対する医療提供の実績                            | 医事センター  |
| 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿  | 病院課及び薬剤部                                   |   |
| 第規一則号第一に掲げる十一の第一項各号及び第九の二十三第一項   | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況                       | 医療安全推進部   |
|  | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況                      | 医療安全推進部   |
|  | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況                     | 医療安全推進部   |
|  | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医療安全推進部   |
|  | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況                      | 医療安全推進部   |
|  | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況                         | 感染制御部   |
|  | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況                        | 医療安全推進部   |
|  | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況         | 患者サービスセンター  |

|   |   | 保管場所  | 分類方法  |
|---|---|---|-------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録  | 規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況 | 院内感染のための指針の策定状況                                       | 感染制御部 |
|   |   | 院内感染対策のための委員会の開催状況                                    | 感染制御部 |
|   |   | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況                              | 感染制御部 |
|   |   | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況           | 感染制御部 |
|   |   | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況                            | 薬剤部   |
|   |   | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況                            | 薬剤部   |
|   |   | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況            | 薬剤部   |
|   |   | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部   |
|   |   | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況                                 | 業務課   |
|   |   | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況                           | 業務課   |
| 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況                           | 業務課                                       |   |       |
| 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 業務課                                       |   |       |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

|             |                                       |
|-------------|---------------------------------------|
| 閲覧責任者氏名     | 北海道公立大学法人札幌医科大学理事長 島本 和明              |
| 閲覧担当者氏名     | 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局企画管理部<br>総務課長 伊藤 徹彦 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局企画管理部総務課            |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| 前年度の総閲覧件数 |        | 延 | 0件 |
|-----------|--------|---|----|
| 閲覧者別      | 医師     | 延 | 0件 |
|           | 歯科医師   | 延 | 0件 |
|           | 国      | 延 | 0件 |
|           | 地方公共団体 | 延 | 0件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

| 紹介率  | 85.99%                 | 算定期間 | 平成23年4月1日～平成24年3月31日 |
|------|------------------------|------|----------------------|
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数              |      | 9455人                |
|      | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数  |      | 5293人                |
|      | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 |      | 491人                 |
|      | D: 初診の患者の数             |      | 12428人               |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

|  |        |
|--|--------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況   | 有      |
| <p>・指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「札幌医科大学附属病院における安全管理指針」<br/>医療の安全管理に関する基本方針を定めるとともに院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について 9 項目を規定している。</li><li>・H24年 6月26日 3-1-(2)「報告制度の対象とする事例」のインシデント等の定義を改正</li><li>・H24年 9月 1日 2-1「医療事故防止対策委員会」規程の改正</li></ul> <p>1 総則 2 医療安全管理のための組織体制 3 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 4 安全管理のための職員研修の実施 5 医療事故発生時の対応方法 6 患者相談窓口の設置 7 安全な医療を提供するためのマニュアル・ガイドライン 8 本指針の閲覧 9 附則</p>  |        |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況（平成 23 年度）  | 年 28 回 |
| <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○医療事故防止対策委員会 (定例) 12回 医療事故の原因分析・再発防止策等の検討を実施</li><li>○安全対策委員会 (定例) 12回 インシデントの原因分析・再発防止策の検討、マニュアル等の検討</li></ul> <p style="text-align: center;">*各検討結果を現場へフィードバックし、周知徹底を図っている</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○リスクマネージャー連絡会議 (定例) 4回 インシデントの周知徹底を図り、注意喚起した<br/>(メール配信 22回 電子メール等による各リスクマネージャーからの問い合わせ又は意見提起、これに対する回答等、双方向の連絡)</li></ul>  |        |
| ① 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況（平成 23 年度）   | 年 21 回 |
| <p>・研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○全職員を対象とした安全対策研修 年 5回 (講演会2、医薬品1、トピックス2)</li><li>○全職員を対象としたBLS・AED講習会 年 6回</li><li>○その他医師、看護師・看護助手を対象とした研修会 年10回 (トピックス6、KYT4)</li></ul>  |        |
| ② 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況   |        |
| <p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○「医療事故発生・発見時の対応について」(平成14年11月1日病院長決定)により事故等の区分を6段階にレベル分けし、院内報告の仕方や取り扱いを明らかにするとともに、再発防止策の検討方法などを規程している。</li><li>H23年 8月 5日 6「報道機関に対する報告及び公表」を一部改正</li><li>H24年 6月26日 インシデント等の定義の改正に伴い、公表基準の別紙を改正</li></ul> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○医療安全確保のための業務改善計画書に基づく巡回点検の実施<br/>昨年度も各部署において「業務改善計画書」を作成・提出させ、医療安全推進部長、GRM、医療事故防止対策委員が診療科等を巡回、当該計画書の実施状況を確認の上、状況に応じた指導を行った。今年度においては、昨年度に継続して全科に緊急事態発生時の対応についての取り組みを企画させ、診療科においては更に高度な手術・検査等の安全確保の徹底に向けた策定条件の見直しを行わせている。</li><li>○医療安全推進週間の開催<br/>昨年度も医療安全対策に関し、医療関係者の意識の向上、また、医療機関における組織的取組の促進などを図る目的で開催した。取組内容は、「医療安全講演会」「医療安全標語・ポスター・ステッカー募集」「Mr. &amp; Ms. 医療安全」「医療機器トレーニング」。今年も引き続き開催予定で、「医療安全講演会」「医療安全標語・ポスター・ステッカー募集」「医療機器トレーニング」「中心静脈カテーテル挿入ハンズオントレーニング」「医療安全大賞」の企画を実施する予定。</li><li>○H24年3月29日、医療安全対策マニュアルポケット版(第4版)を発行した。</li><li>○今年度、安全対策委員会において安全対策強化月間を設け、月毎にテーマを変えてポスターを作成し各部署に配付している。また、同委員会において各部署の巡回訪問を予定している。</li></ul> |        |

|   |        |
|---|--------|
| ⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況   | 有 (3名) |
| ⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況  | 有 (2名) |
| ⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況   | 有      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 4 ) 名</li> <li>・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○附属病院における安全対策の総合企画・総合調整</li> <li>○事故発生報告書及びインシデントレポートに基づく事故原因の分析及び再発防止策の検討業務</li> <li>○再発防止策等について診療科・看護室等のリスクマネージャーを通じて現場への指導</li> <li>○再発防止策のマニュアル化及びその周知徹底</li> <li>○安全管理に関する最新情報をリスクマネージャー連絡会議、リスクマネジメントニュースの発行を通じて全職員へ周知徹底</li> </ul> </li> </ul> |        |
| ⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況  | 有      |



院内感染対策のための体制の確保に係る措置

|  |        |
|--|--------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況  | 有      |
| <p>・指針の主な内容</p> <p>○「札幌医科大学附属病院院内感染対策指針」</p> <p>札幌医科大学附属病院における院内感染対策に関する基本事項について、規定したものである。院内感染対策についての意識の向上に、資するものである。</p> <p>1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための管理体制・組織<br/>3. 院内感染対策のための職員研修 4. 感染症の発生状況の報告 5. 院内感染発生時の対応<br/>6. 患者等に対する本指針の閲覧 7. その他の院内感染対策の推進</p>  |        |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況   | 年 48 回 |
| <p>・活動の主な内容</p> <p>○ 院内感染防止委員会（ICC） 定例12回 院内における感染情報、抗菌剤使用状況、コンサルテーション内容の報告。院内感染対策に関わる事項の審議と決定を、最高決定機関として行う。</p> <p>○ Infection Control Team（ICT） 定例12回 院内における感染情報、抗菌剤使用状況、コンサルテーション内容の報告。院内感染対策に関わる事項の検討を、実働部隊として行う。</p> <p>○ リンクドクター会議 定例12回 院内における感染情報、抗菌剤使用状況の周知をする。臨床現場における感染対策に関わる事項の情報収集と、具体策の指導を行う。</p> <p>○ リンクナース会議 定例12回 院内における感染情報、手指消毒剤使用状況の周知をする。コンサルテーションに関する情報提供や、感染対策についての指導を行う。</p>  |        |
| ③ 従業員に対する院内感染対策のための研修の実施状況   | 年 31 回 |
| <p>・研修の主な内容</p> <p>○ 病院感染対策講習会 3回 全職員を対象とする。</p> <p>○ 清掃委託業者における病院感染対策講習会 2回 清掃委託業者全員を、対象とする。</p> <p>○ リンクドクター講習 12回 リンクドクターを、対象とする。</p> <p>○ リンクナース講習 12回 リンクナースを、対象とする。</p> <p>○ 研修医への講義 1回 研修を受ける医師を、対象とする。</p> <p>○ 新採用看護師への講義 1回 新採用された看護師全員を、対象とする。</p>  |        |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況  |        |
| <p>・病院における発生状況の報告等の整備 （有）</p> <p>○「感染症発症連絡票」を用いて、患者や職員の感染症発生に関する報告を受けている。</p> <p>○ 感染対策ソフトで院内の菌やウイルスの検出状況を把握し、必要に応じて各部署の責任者等へ詳細報告を求めている。</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>○ 病院感染対策マニュアルを電子カルテ端末のSMILEへ掲載し、閲覧しやすくした。</p> <p>○ 広報誌「CLEAN HOSPITAL」を発行し、院内における検出菌の情報提供や感染症についての注意喚起をした。</p> <p>○ ICTメンバーによる病棟ラウンドを実施し、臨床現場の現状把握や改善内容の提案をした。</p> <p>○ 大学事業として、学生や職員のウイルス疾患（麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎）の抗体価検査を、採血業務のみならず検査部と協力し円滑に実施した。</p> <p>○ 職員へのインフルエンザワクチン接種事業を、継続して感染制御部が所掌した。</p> |        |



(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|  |       |
|--|-------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況   | 有     |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況   | 年 5 回 |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○平成23年度トピックス研修会（全4回）<br/>「エビデンスに基づいた医薬品の安全管理・危機管理 ver. 5」 講師：医薬品安全管理責任者、薬剤部長<br/>「糖尿病治療薬の安全使用」 講師：第二内科准教授</p> <p>○平成23年度医薬品・医療機器安全管理研修会<br/>「医薬品・医療機器の安全管理-最近の医療安全トピックスを中心に-」<br/>講師：医薬品医療機器総合機構 石井健介</p> |       |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況   |       |
| <p>・ 手順書の作成 (有)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>○医薬品の採用・購入、医薬品の管理方法、投薬指示・調剤、患者への与薬や服薬指導、<br/>医薬品の安全使用に係る情報の取扱い（収集・提供）、他施設との連携</p> <p>○手順書に基づく業務評価</p>   |       |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況  |       |
| <p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○ハイリスク薬の管理・取扱い：院内周知及び管理状況の確認</p> <p>○麻薬・向精神薬の適正使用の推進：重複処方等の調査・指導（四半期毎）</p> <p>○がん化学療法：プロトコール申請及びレジメン入力の実施、薬剤部でのミキシング</p> <p>○医薬品医療機器総合機構等からの通知：該当事例を検討し改善を図る</p>    |       |

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|   |        |
|---|--------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況   | 有      |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況   | 年 15 回 |
| <p>・研修の主な内容：<br/>医療機器の安全使用の達成を目的として、特に高度な技術の習得が必要とされる医療機器の「有効性・安全性に関する事項」、「使用方法に関する事項」、「保守点検に関する事項」、「不具合が生じた場合の対応に関する事項」、「使用に際して、特に法令上遵守すべき事項」について研修を実施している。<br/>また、新たに導入した医療機器についても、機器導入時に同様の研修を実施している。</p>  |        |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況   |        |
| <p>・計画の策定 (有)<br/>・保守点検の主な内容：<br/>平成19年3月30日付け厚生労働省通達に基づく8種類の医療機器のほか、高額医療機器および在宅用機器に貸し付けている医療機器について、毎年度保守点検計画を策定し、当該計画に基づき保守点検を行っている。</p>   |        |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況   |        |
| <p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有)<br/>・その他の改善のための方策の主な内容：<br/>当院では、医療機器安全管理責任者を配置して、医療機器の安全使用のための安全管理体制を確保し、また、ME機器センターへの業務委託により、医療機器の添付文書や取扱説明書などの情報の整理及び管理を行い、医療機器の不具合情報や安全情報等を機器製造者や販売業者などから一元的に収集し、得られた情報を担当者に適切に提供するなど、医療機器の安全使用に必要な情報の収集、改善のための方策を実践している。</p> |        |